



# 長崎地本だより

発行所  
自衛隊長崎地方協力本部  
長崎市出島町2番25号  
Tel. 095-826-8844



## 謹賀新年



### 新年のご挨拶

自衛隊長崎地方協力本部長  
1等海佐 西田 洋一郎



皆様、明けましておめでとうござ  
います。  
旧年中は、皆様から自衛隊長崎  
地方協力本部への温かいご支援と  
ご厚情を賜り、深く感謝申し上げ  
ます。

長崎地方連絡部が創設されて以  
来、65年もの長きにわたり、長崎  
において目標に向かい走り続けて  
こられたこと、また、地本部長が自  
らの職務に誇りを持ち、活動できま  
したのも、皆様方からのご支援とご  
協力の賜物であり、改めまして御  
礼申し上げます。

さて、我が国を取り巻く安全保  
障環境は、国家間の相互依存関係  
が一層拡大・深化する一方、パワー  
バランスの変化が加速化・複雑化  
し、既存の秩序をめぐる不確実性  
が増しています。そして政治・経  
済・軍事にわたる国家間の競争が  
顕在化し、軍事と非軍事の境界を  
意図的にあいまいとした「ハイブリ  
ッド戦」といった手法をとるなどす  
ることもあり、グレーゾーンの事態  
の長期化と相まって、より重大な  
事態へと急速に発展していくリス  
クをはらんでいる状況です。また、  
テクノロジーの進化が安全保障に  
大きく影響しており、各国は戦闘  
様相を一変させるゲームチェンジ  
ヤー技術（人口知能、極超音速技術  
及び高出力エネルギー技術など）  
を活用した兵器の開発に注力して  
います。

このような中、令和2年度は、防  
衛大綱及び中期防の2年目として、  
宇宙・サイバー・電磁波といった新  
たな領域における能力の強化と保

有する能力の有機的融合などによ  
り多次元防衛力の構築に向けた整  
備を推進しているところです。加え  
て、新型コロナウイルス感染症は、  
各国の軍事活動などにも様々な影  
響・制約をもたらしつつあり、注目  
しています。

我々長崎地本は、これらを支え  
る中心的要素の一つである「人的  
基盤の強化」を担うため、近年の人  
口減少と少子高齢化が進む厳しい  
環境の中で、「質・量」に加え、新  
たな領域で活躍できる有能な人材  
の確保が必要不可欠との認識のも  
と、「募集」「就職援護」そして各種  
事態に応じ必要な自衛官等を確保  
するための「予備自衛官等の管理」  
を進めてまいります。そして、長崎  
県をはじめ各自治体及び協力団体  
等の皆様とともに任務の完遂に全  
力で臨み、自衛隊と県民のかけは  
しとして皆様方のご期待にお応え  
できますよう、誠心誠意そしてチー  
ムワークをもって取り組んで参り  
ます。

また、部員一同、ウィズコロナ、  
新しい生活様式を皆様とともに実  
施していくとともに更に精進して  
参りますので、引き続き旧年と変わ  
らぬご支援とご協力をお願い申し  
上げます。  
結びに、皆様方にとって、本年が  
輝かしい希望に満ちた一年になり  
ますようお願い申し上げます。新年のご  
挨拶と致します。





長崎県防衛協会 会長  
長崎県知事 中村法道

新年明けましておめでとうございます。

自衛隊長崎地方協力本部の皆様、県内の陸海空自衛隊の皆様、並びに長崎県防衛協会をはじめ自衛隊協力団体の皆様におかれましては、輝かしい新年をお迎えのことと、心からお慶び申し上げます。

自衛隊長崎地方協力本部におかれましては、昭和30年に長崎地方連絡部として設立されて以来、長きにわたり、自衛官の募集や就職援護活動をはじめ、災害対応や国民保護業務における自衛隊と県内自治体等との連携にご尽力いただき、心から感謝を申し上げます。

昨年を振り返りますと、自衛隊の皆様には令和2年7月豪雨災害をはじめ全国で頻発する災害に懸命な災害派遣活動を実施していただきました。本県におきましては、海上自衛隊第22航空群による離島地域からの急患搬送は昭和33年の開始からすでに5,100回を超えております。また昨年4月には長崎港に停泊中であったクルーズ船「コスタアトランチカ号」において新型コロナウイルス感染症のクラスターが発生した際には、船員623名に対するPCR検査の検体採取とともに船外医療支援を実施していただきました。自衛隊の皆様方の昼夜を分かたぬ献身的な活動に心から敬意を表し、県民を代表して深く感謝を申し上げます。

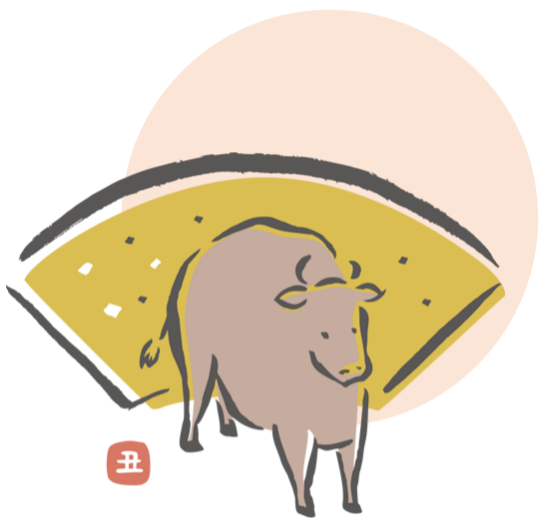
改めて申し上げるまでもなく、自衛隊におかれましては、わが国の平和と安全を守ることはもとより、災害等への派遣活動、国際平和維持活動へのご

参加など大変重要な任務に日々精励されております。

国際情勢も一層厳しさを増すなど、国内では、大規模・広域化する災害が頻発しており、自衛隊の皆様はなくてはならない存在として、国民・県民のみならず、国際社会からも厚い信頼と大きな期待が寄せられております。

どうか隊員の皆様には、国の安全を守り、国民の生命・財産を守るため、引き続きご活躍をいただきますようお願いを申し上げますとともに、本県の安全・安心の確保に向けた取組に対しましても、さらなるお力添えを賜りますようお願い申し上げます。

結びに、自衛隊長崎地方協力本部、県内の陸海空自衛隊、並びに長崎県防衛協会をはじめとする自衛隊協力団体の限りなくご発展と、新しい年が関係皆様方にとりまして素晴らしい一年となりますことを心からお祈り申し上げます。新年のご挨拶とさせていただきます。



公益社団法人 長崎県自衛隊家族会  
会長 浦田正

令和3年 謹んで新年のお喜びを申し上げます。

皆様方におかれましては、清々しい新年をお迎えのことと存じます。

令和2年は、長崎県自衛隊家族会の運営に対して、家族会会員は元より、自衛隊長崎地方協力本部の皆様を始め、陸海空自衛隊並びに防衛関係、協力諸団体の皆様より温かいご支援とご協力を賜りましたことに、心より厚くお礼を申し上げます。

令和2年は、国内外で発生した災害や新型コロナウイルス感染症の拡大等、被災された方や罹患された方も多数おられます。これらによって亡くなられた方に深く哀悼の意を表します。

熊本や他の被災地における救援復旧活動等に加え、自衛隊の役割として離島防衛も重視されており、海外では派遣海賊対処活動や派遣情報収集活動等、水上部隊によるエネルギーを運ぶルート確保任務も重要で、私たちが日常生活を送れるのは自衛隊の支えあってのものであり、感謝申し上げます。

離島防衛の一環として、発足2年目の相浦駐屯地水陸機動団が加津佐において訓練を実施した際には、関係各機関や水陸機動団全国後援会との事業連携が出来たことが自衛隊を支える一助となったと考えており、これからも慎重に住民感情に配慮しつつ、地固めに努めていきたいと思っております。

国外に目を向けると、依然、東シナ海や尖閣諸島付近における中国の独善的な行動や、北朝鮮による弾道ミサイル発射、世界中に蔓延する新型コロナウイルス

ス感染症への対応など諸問題があり、国民の安全確保と領土・領海の維持への対応が求められている現状にあって、お互いの平和と安全を守り合うことが今後重要となると思いますが、私達家族会は、自衛隊の身近な存在であることに誇りを持ち、力を合わせて自衛隊を支えます。

《心構え》  
☆自らの国は自ら守る防衛意識を高めよう

☆自衛隊員の募集、就職援護と家族支援に協力

☆会員数を増大し組織の活動力を高めます

家族会が隊員に最も身近な存在である事を再確認し、会の充実を図って参ります。

皆様方のご健康とご多幸を心より祈念申し上げます。新年の挨拶と致します。





長崎防衛協会

会長 渡邊悦治

新年あけましておめでとうございませす。

皆々様におかれましては、令和三年の輝かしい新春をお健やかに迎えのことと、心からお慶び申し上げます。

昨年(一月に中国(武漢)にて発生した『新型コロナウイルス』が世界中に蔓延し、経済・スポーツ等至る所に莫大な影響を及ぼし、日本においても、開催予定であったオリンピックも開催できず順延となるなど、今もって流行終息の兆しすらみえず、経済及び国民へ甚大な影響を及ぼしています。

国外においては、アメリカ大統領選挙により「バイデン新大統領」の当選就任が確実となり、民主党政権への移行、新時代への幕開けを間近に控え世界中が注目しています。

諸国へ目を向けると、中国は南シナ海・東シナ海において独自の主張に基づき活動を活発化させる等、周辺諸国との対立姿勢を一段と強めています。

また、韓国においては、「徴用工問題・慰安婦問題」により、反日的色彩が一層強くなり、経済・貿易等の日韓関係に悪影響を及ぼしています。

北朝鮮は、核の脅威は以前と変わらず、ミサイル発射実験を繰り返し行うなど不穏な行動は収まっています。ヨーロッパ諸国においても、多数の死者を出す「テロ活動」が発生し、緊迫した様相を呈しています。

国内においては、七年半続いた安倍政権から、菅政権へと移行しました。自衛隊の皆様におかれましては、七月の人吉水害による災害派遣活動及び、今も終息していない『新型コロナウイルス』対策としての第一線での対応及び患

者搬送等の様子が連日報道されてきました。

これら内外の急激に変化する状況下にあつて、いかなる情勢にも冷静かつ迅速に対処する姿勢を貫く覚悟が必要であると思ひます。

長崎防衛協会は、昨年二月に予定していた部隊研修及び五月・十一月の総会等、すべての行事が中止となりましたが、名実ともに『行動する防衛協会』として今後一層の熱意を持って、防衛思想の普及に努め、自衛隊の隊員の皆様の生の声を聴取できる部隊研修を積極的に推進するとともに、部隊指揮官等の方々の講演の機会を設けて、自衛隊の活動への理解をより深めてまいり所存です。

今年も、自衛隊長崎地方協力本部のご協力を得て、より一層積極的に自衛隊の支援を行いつつ、「行動する防衛協会」の名を継ぎ続けます様、関係各位のご指導、ご鞭撻のほどよろしくお願い申し上げます。

最後になりましたが、全国に所在する防衛省・自衛隊隊員のみならず、後益々のご活躍とご安全を心からお祈り申し上げますとともに、当協会会員をはじめ関係者皆様にとりまして、良い年となりますように祈念申し上げます。新年のご挨拶とさせていただきます。



公益社団法人隊友会 長崎県隊友会

会長 江見雅博

明けましておめでとうございませす。長崎地方協力本部の皆様及び同OB会会員の皆様にはご家族おそろいで、新年を迎えられたことと心からお喜び申し上げます。皆様にとつて、今年が平和で平穏な年であることを祈ります。

令和2年は、中国からやってきた新型コロナウイルスのため、世界中が大きな混乱の中になりました。この疫病は未だ終息の気配を見せず、まさにパンデミックといえます。

この中にあつて我が国は、初動のまさしさはあつたにせよ、世界各国を見渡しても、人口当たりの死者数の少なさから言え、よく対処していると言えらるるのではないのでしょうか。これは日本人の衛生観念や自助努力によるところが大きいと考えられますが、強制力を伴った都市封鎖を行った国と、自粛依頼で乗り切る我が国の違いは何か、考えさせられるものがあります。また、オリンピックの開催が延期され今年の開催が予定されていますが、いまだ樂觀はできない状況だと思ひます。

しかしながら、かつての日本人が大陸からの疫病と戦い克服してきた歴史を思い、今を生きる私たちが、これを取り切り未来へ繋げていかねばなりません。

令和2年の隊友会の活動は、新型コロナウイルスの影響を受け、行事を中止または延期せざるを得ない状況でした。その中にあつても長崎地方協力本部の積極的なご支援を頂き、部隊諸行事に参加できましたことは、偏に皆様のご協力の賜と感謝申し上げます。

さて、我が国の安全保障環境を見渡すと、一段と不透明性が増して厳しい状況が続いております。まさに「今そこにある危機」といっても過言ではありません。北朝鮮の核の脅威は従前と変わらず、

中国の現状変更の試みも香港情勢や尖閣諸島の侵犯状況を見ても分かる通り、依然続いていきます。また、大規模災害も各地で頻発しており、自衛隊の置かれてる環境は、コロナの影響を受け、とみに厳しくなつていきます。その中で国民の97%以上が自衛隊に期待し、信頼を寄せていることを考えると、現役自衛官の高い緊張感を持って勤務する「苦勞に、国民の一人として、感謝申し上げます」ところです。

自衛隊員が誇りを持って勤務に邁進できる環境や、任務遂行の装備の充実に向け、隊友会としても積極的に取り組んでいるところとす。

隊友会は、自衛隊と国民の架け橋となることを目標に掲げております。長崎県隊友会としては、最強の支援団体たるべく、防衛意識の普及高揚を図るとともに、自衛隊が働きやすい環境を作るために県民の皆様への啓蒙活動を続けてまいります。

最後に、速やかに新型コロナウイルスが収まり、本年が皆様にとつて、良い年となりますよう祈念申し上げます、新年のご挨拶いたします。





自衛隊長崎地方協力本部OB会  
会長 三浦正司

新年明けましておめでとうござ  
います。  
世界・日本の各地で、日夜任務・  
職務にあるいは、厳しい教育訓練  
に勤しまれておられる長崎県出身  
の自衛隊員の皆様、協力各諸団体  
の皆様は、新鮮な清々しい気分で  
令和三年の新年を迎えられたもの  
と思います。  
昨年は、ご案内のように、全世界  
に及んだ「コロナ禍」で、行事・組  
織の活動に係る自衛隊の各部  
隊、組織の方々はこれまで経験し  
たことのない影響を及ぼしその在  
り様にも悩まれ、あるいは猛威をふ  
るつた自然災害に、災害派遣等  
ご苦労されたものと思います。  
又、我が国周辺の脅威は相変わ  
らずであり、憂慮すべき事態が続  
いており、また「コロナ禍」以降の不  
透明な国際情勢等による安全保障  
等への影響を考えれば防衛省、自  
衛隊は有事の対応準備に忙殺さ  
れ、緊張を強いられたものと思いま  
す。加えて、自衛隊の編成・装備の  
見直しと充実、即応性の向上と戦  
闘・戦技能力向上のための厳しい  
教育訓練を求められ、一時の休み  
も無い状態での一年であったらう  
と察するとともに、その労苦に敬意  
と感謝を申し上げます。  
毎年述べることですが、引き続  
き、同盟国及び関係国家機関と綿  
密な連携のもと、国民が安全・安心  
に暮らせるための万端の態勢の充  
実を推進して頂きます様お願い  
いたします。  
自衛隊員、防衛省関係各位にお



かれましては、ご家族共々夫々のご  
家庭で、国内外の勤務地で、故郷の  
実家で、警戒・監視及び海賊対処な  
どの任務の遂行中の洋上で令和  
二回目の新年でありましょうが、こ  
の一年が皆様方にとり素晴らしい  
年である事をご祈念申し上げます  
と共に、新年のご挨拶とさせていただきます。

長崎地本各課・各所別 新年の抱負



援護課

平均年齢46歳！ 健康管理に全集中！！



副本部長

「笑顔・真心・感謝」で頑張ります！！



募集課

今年モウ やる気しかありません



総務課

全集中。誠の呼吸。壺の型。チームワーク。



諫早地域事務所

いつも明るく「誠心・誠意」  
心温まる対応



大村地域事務所

所員一同、健康第一で  
募集に邁進します！



佐世保出張所

馬に乗るまでは牛に乗れ



琴海地域事務所

常に前向きに行こう！



長崎募集案内所

今年もよろしくお願ひします



島原地域事務所

ハッピー ギュウ イヤー！ ウシろは見ずに前を見て、  
モオ〜っと良い年になるよう頑張るぞ〜！



上五島駐在員事務所

もう1度、初心に帰り、  
with コロナ



対馬駐在員事務所

丑年の今年は、  
闘志(とウシ)MAXで頑張ります。



壱岐駐在員事務所

地域と共に！



長崎援護センター

チームワーク



長崎地域援護センター

良縁を繋いでいきます



五島駐在員事務所

新メンバー(体制)で、  
募集業務へ邁進致します！



佐世保援護センター

誠心誠意



大村援護センター

呑牛之気！仕事もプライベートも  
全力を尽くします。

# すずつき体験航海に入隊予定者を引率



長崎地本（本部長 西田洋一郎）は11月14日（土）佐世保市において実施された海上自衛隊護衛艦「すずつき」の体験航海に海自入隊予定者2名を引率しました。

佐世保港の海自倉島岸壁を出港した同艦は、港内をゆっくり南下し、投錨しました。投錨の様子を見学できるのは珍しく、乗組員の整齊とした動きや錨をつなぐ鎖が繰り出される迫力に乗艦者からは驚

きの声が上がっていました。投錨後は、主砲の操法展示や航海科員によるらっぱ演奏や手旗信号の紹介、制服や戦闘服、防火服など様々な服装を紹介する「ファッションショー」も行われました。乗艦から退艦までの様々な場面でユーモアを交えたアナウンスや乗組員による丁寧な説明からは、「すずつき」の「おもてなし」の心が大きいと感じられました。

参加者は「護衛艦での仕事について知ることができた」と対応してくれた女性の乗員は明るく、楽しそうな雰囲気や伝わってきた「入隊後の職種選択の参考になった様子でした」。

長崎地本は、このような活動を通じて合格者に部隊を知ってもらい、入隊に対する不安の解消や入隊後のイメージアップとなるよう努めていきます。



（募集課）

## 小値賀町で装備品見学会

長崎地本上五島駐在員事務所（所長 赤波江博史陸曹長）は、10月18日（日）北松浦郡小値賀町班島において陸上自衛隊第2高射特科団が実施した装備品見学会を支援しました。

新型コロナウイルス感染症対策のため、事前に募集した学生や子ども連れの家族、自衛隊協力者などが対象となり、当日は天候にも恵まれました。会場には地対空誘導

## 第2高射特科団を支援



説明を聞く参加者

## 長崎北高校において 防大教授が模擬授業

長崎地本長崎募集案内所（所長 赤波江真治准陸尉）は、10月15日（木）長崎県立長崎北高校が開催した大学セミナーにおいて、防衛大学校電気電子工学科の森下久教授による模擬授業を行いました。

大学セミナーは同校の1年生を対象としたもので、6つ



## 防大教授が模擬授業

の国公立大学から講師を招いて開催され、11の講義の中から生徒が2つの講義を選んで参加する形式で行われました。

森下教授は、「IoT、スマホの無線通信について」と題して約60分間の講義を実施しました。生徒は、大学教授を前に緊張した様子でしたが、スマホは高校生にとって身近なツールでもあり、興味をひいていました。

長崎地本は、このような機会を捉えて高校生に防衛大学校を知ってもらい、防衛大学

## 防災講話を実施

### 新上五島町立中学2校で

長崎地本（本部長 西田洋一郎）は、10月22日（木）新上五島町立若松中学校、23日（金）同奈良尾中学校において、生徒及び教職員を対象に防災意識の高揚を目的とした防災講話を実施しました。

防災訓練の一環として学校側からの要望を受け実施したもので、東日本大震災などの災害派遣に従事した経験を持つ本部所属の陸上自衛官を講師として派遣し、地震・津波発生時の対処方法や日頃の備えについて講話を行いました。

生徒からは「津波が来たらどう逃げたら良いか」など、質問があり、防災意識及び自衛隊の活動に対する関心が高まった様子でした。また、校長先生からも「今後の生活に活かしていきたい」との感想



がありました。長崎地本は今後もこのような防災講話等を通じて、学校関係者の皆様に自衛隊の活動について理解を深めていただくよう努めていきます。

（上五島駐在員事務所）

お知り合いに興味のある方いませんか？

## 自衛官採用 32歳まで

「守りたい。その決断は遅くない！」

自衛隊長崎地方協力本部

095-826-8845

長崎市出島町 2-25

陸海空 自衛官募集中 待ってるね

# 平成新山防災視察登山

## 雲仙普賢岳 噴火から30年



長崎地本島原地域事務所（所長 有山泰斗3陸佐）は、11月17日（火）九州大学地震火山観測研究センターと島原市が実施する「平成新山防災視察登山」に参加しました。この防災視察登山は、雲仙普賢岳の噴火によって誕生した溶岩ドーム（平成新山・標高1413m）の現状を関係機関で共有することを目的として、1995年から毎年春と秋に実施されているもので、自衛隊からは第16普通科連隊2名と島原所1名の計3名が参加しました。

噴火からちょうど30年となるこの日、仁田峠に集まった

100名の防災関係者と共に、普段は立ち入ることのできない警戒区域にある溶岩ドームを目指して、登山道から警戒区域に入り、大きな岩（溶岩）が積み重なる急斜面を登る片道約3.5kmの道のりを進みました。溶岩ドームのある頂上付近に辿り着くと、岩の間からは現在も白い蒸気が上がっており、普賢岳が活きていることを実感しました。島原所は、1996年の噴火終息宣言から24年が経ちますが、災害の記憶を風化させることなく、自衛官として常に災害に備えていきます。（島原地域事務所）

# 曹候・自候合格者説明会

《大村》

長崎地本募集課（課長 中村淳2陸佐）は、12月6日（日）大村駐屯地において、今年度第1回目となる陸・海・空の一般曹候補生・自衛官候補生合格者に対する説明会を実施しました。

本説明会は、合格者の入隊に対する不安の解消、自衛隊への理解の促進、入隊意欲の向上を目的として実施したもので、この日は、合格者とその保護者等、合わせて126名（午前92名、午後34名）が聴講に訪れました。

説明会は、当初、募集課長が合格への祝意を述べた後、自衛隊の仕事、自衛官のキャリア、自衛官の処遇のほか、最も身近に迫る教育隊での生



活などについての説明に続き、陸・海・空に分かれて若手現役自衛官による入隊後に感じた生の声などを交え、懇談を実施しました。

懇談においては、参加者から「外泊はできるのか」や「頭髪はどうすれば良いのか」など多くの質問があり、合格者、保護者ともに関心が高いことがうかがえました。

長崎地本は、説明会によって自衛隊への理解を深めてもらい、優秀な若者に安心して入隊してもらえよう努めていきます。

合格者に対する説明会は、今後1月から2月にかけて大村、佐世保、長崎、島原、諫早の各地区においても実施を予定しています。

（募集課）

# 令和3年 年男・年女

総務課 本田事務官



健康管理！  
指導していきますので  
よろしく！

総務課 久事務官



週末は  
自宅に帰ります。  
仕事頑張ります！

総務課 森1曹



一日も早く  
脱マスク！の日々にも  
どりますように。

総務課 市平事務官



心を燃やせ

募集課 廣吉事務官



チャレンジ精神で  
頑張ります。  
何卒ご指導よろしく  
お願いします。

佐世保出張所 田代1尉



楽しく元気に  
頑張ります

佐世保出張所 汐月2曹



前向きに  
笑顔を忘れず  
頑張ります。

諫早地域事務所 西村1曹



安全第一、  
無病息災、  
夫婦円満、  
対象者第一

諫早地域事務所 加藤2曹



健康第一・  
迅速果断の精神で、  
邁進します。

## 人事

お世話になりました

【転出】  
大村航空基地隊へ  
1等海曹 飯川 勇一  
（諫早地域事務所）  
以上 12月10日付



自衛隊  
長崎地方協力本部

本年も  
どうぞ  
よろしく  
お願い  
いたします



長崎地本マスコット・ながりん

長崎地方協力本部の  
ホームページ  
ツイッター  
インスタグラムは  
こちらからアクセス！



長崎地本公式HP



長崎地本公式Twitter



長崎地本公式Instagram

 嶋田曹長										 木村曹長										 坂井曹長										 小浦曹長										 小川准尉										 団 事務官										 久 事務官										 近藤事務官										 堀 1尉										 本田事務官										総務課										副本部長  山崎事務官									
 音なぎ 3佐										 中村 2佐										募集課  黒瀬期間業務隊員										 市平事務官										 川良 2曹										 米倉 2曹										 酒井 2曹										 森 1曹										 井手 1曹										 高山 1曹																													
 牧野事務官										 渡邊 2曹										 峰 1曹										 山口曹長										 佐藤曹長										本部長  西田 1佐										 松本曹長										 松尾事務官										 野口 1尉										 秋重 1尉										 小笹 1尉																			
 田口曹長										 岡野事務官										 津田事務官										 野口事務官										 中村事務官										 高橋事務官										援護課  林期間業務隊員										 廣吉事務官										 坂井 3曹										 佐伯事務官																													
 柴田曹長										 田代 1尉										佐世保出張所  松井期間業務隊員										 藤尾 3佐										長崎地域援護センター  斉藤准尉										 樋口 1尉 (航空連絡幹部)										 指宿 3佐 (航空連絡幹部)										長崎地域援護センター  前田期間業務隊員										 中島事務官										 山本事務官										 吉居曹長																			
 津山 2曹										 中野 1曹										 宮本曹長										 中尾曹長										 瀨江 1尉										大村地域事務所  大庭期間業務隊員										 島田 3曹										 川上 2曹										 汐月 2曹										 神部 2曹										 森本 2曹										 松本 1曹									
 吉田 2曹										 平方 2曹										 東 曹長										 有山 3佐										島原地域事務所  中武 2曹										 加藤 2曹										 二ノ宮 2曹										 谷口 1曹										 西村 1曹										 横山 2尉										諫早地域事務所  三原 3曹																			
 寺崎 2曹										 山方曹長										 中村曹長										琴海地域事務所  満居期間業務隊員										 深田 3曹										 佐藤 2曹										 千代田 1曹										 七種曹長										 赤波江准尉										長崎募集案内所  永川 3曹										 伊藤 3曹										 平田 3曹									
 山中曹長										 多良 2尉										佐世保援護センター  竹山期間業務隊員										 納屋 1曹										五島駐在員事務所  高増期間業務隊員										 赤波江曹長										上五島駐在員事務所  小島期間業務隊員										 新南曹長										対馬駐在員事務所  村田期間業務隊員										 富山曹長										 高田 2尉										吉岐駐在員事務所  猪股期間業務隊員									
 樽水 1曹										 川道曹長										 山道准尉										本部付  松本期間業務隊員 (大村援護室)										 瀧山期間業務隊員 (竹松援護室)										 廣瀬 1曹										 石田曹長										 溝口曹長										 森住曹長										 大宅 2尉										大村援護センター  猪股期間業務隊員										 村中期間業務隊員 (相浦援護室)									

本人の同意を得た部員のみ掲載しています。